

事業名：総合的な学習の時間におけるNPO等外部人材活用推進事業

学校名：呉市立港町小学校

所在地：呉市海岸3丁目5-30

HP：http://www.city.kure.hiroshima.jp/mins/

学校規模：10学級、236名

1 研究の概要

(1) はじめに

本研究は、今年度、2年間の国の指定を受け、総合的な学習の時間の研究を開始した。本研究では、研究経過を含め広く研究成果を広める実践的な研究の展開が求められているが、今回は、7月から開始した研究内容についての中間報告である。

(2) 研究テーマ及び研究のねらい

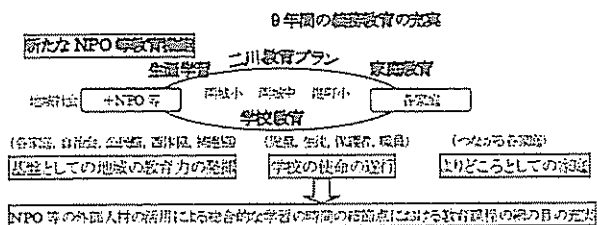
① 研究テーマ

「読み・よみ」「書き・かく」そして「考え・伝え合う」
—「おや?!」「まあ!?!」「ふーん!!」で
鍛える論理的思考力—

② 研究のねらい

本校では、平成15年度から、両城小・中学校とともに3校で、「ことばの教育」「体力づくり」「基本的な生活習慣」の3つをキーワードに、「二川教育プラン」と名付けた小中一貫教育研究に取り組んでいる。

本研究は、これまでの研究に、総合的な学習の時間におけるNPO等外部人材の効果的な活用の視点を加えることをねらいとして、「二川教育プラン」の中に新たに位置付けたものである。そして、9年間の義務教育のさらなる充実をめざすものとして、本研究を「二川教育NPOプラン」と名付けている。

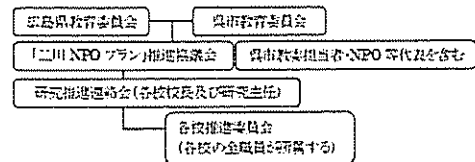


「二川教育プラン」はもともと地域に根ざし、外部人材の協力を積極的に受け入れた研究を展開している。保護者の多くは、二川地区で自分たちの少年時代を過ごしており、熱い郷土愛をもっている。したがって、「二川教育NPOプラン」への地域からの眼差しは温かいものであり、「二川教育NPOプラン」の性格上、学校教育の透明性も一層増すことが期待できる。

これまでの研究から、子どもたちの筋道立てて考える力や表現する力に課題があることが明らかになっている。また、外部人材を学校教育に活用していく場合、「何が私たちにできるのか」「何を何のねらいでどう協力したらよいか」「協力依頼を受けている事項は学校教育にどう貢献をもたらすのか」ということが、学校側に常に求められていることを実感している。

したがって、本研究においては、「論理的思考力」の育成をめざし、総合的な学習の時間の学習内容や方法、他教科等との関連及び教育課程への位置付け、効果的な外部人材の活用の在り方を明らかにしていきたいと考える。

(3) 研究組織・体制



(4) 研究内容

① 論理的思考力の育成に関わって

- ・国語、算数、理科、社会における論理的思考力の分析を行い、系統表を作成する。
- ・各授業における、論理的思考力育成に関する重点指導事項を徹底する。
- ・小中一貫教育の各区分（前期、中期、後期）での論理的思考力育成に係る系統表に基づいた具体的な実践を行う。

② 「総合的な学習の時間」の全体計画・年間指導計画に関わって

- ・「総合的な学習の時間」で育てる4つの力（課題発見能力、課題解決能力、表現力、実践力）の実践的な研究。
- ・外部人材活用の目的の再検討。

③ 外部人材活用に関わって

- ・外部人材とのブリーフィングに関する研究。
- ・外部人材とのデブリーフィングに関する研究。

④ 研究推進の目標管理に関わって

- ・3校での共同研究推進に関する研究。
- ・研究経過報告に関する研究。

⑤ 学習成果の評価に関わって

- ・学習成果を測定するための連想法の活用。
- ・感想文等分析に関するテキストマイニング活用研究。

2 授業改善の視点

(1) 学習方法指導の徹底

- ・学習方法指導テキスト更新。
- ・論理的思考力育成テキスト開発。

(2) 各教科での論理的思考力の育成

- ・系統表の積極的な活用と更新。

(3) 電子データの一層の充実

- ・研究推進のデータベースの作成。

(4) 小中一貫教育研究の充実

- ・教育課程全体への研究の位置付け。

3 研究の成果と課題等

- ・総合的な学習の時間のねらいは何かということを改めて検討することができた。

- ・「ことばの教育」の流れの中で、論理的思考力の育成を図るという新たなテーマに基づき、前期、中期、後期9年間の発達段階に応じた系統性を明確にすることができた。また、論理的思考力の育成においては、統計的なものの見方、考え方に焦点を当てた学習を展開することで、筋道を立てて考える力を育成することができた。

- ・課題発見、解決の場面等、各学習過程における指導内容や方法の工夫、改善については課題が残る。特に、児童にいかに関心を持って課題をつかませ、解決意欲を高めるかについては、外部人材の効果的な活用を図り研究を進めたい。

- ・3校の全体計画を検証する中で、小・中学校において重複した活動があること、そのため、特に中1の生徒には意欲の低下がみられるなどの課題が明らかになった。各校における計画の見直しやさらに密接な小中間の連携が必要である。

4 実践事例

(1) 第6学年 総合的な学習の時間

(2) 単元について

① 単元名 「まるごと環境（電気と環境）」

② 単元の目標

- ・ 出前授業や見学から、電気と環境に関わる課題を持つことができる。 【課題発見能力】
- ・ 電力の消費を調べる活動、環境との関わりを調べる活動を通して、環境にやさしい生活の工夫を考えることができる。 【課題解決能力】
- ・ プレゼンテーションにまとめる活動により、効果的なプレゼン画面や説明を工夫し発表することができる。 【表現力】
- ・ 学習で得た生活の工夫を家庭での生活や学校での生活に活かそうとする。 【実践力】

(3) 授業改善のポイント

① 外部人材の積極的な活用

【目的】 単元のはじめに、電気専門家である外部人材を活用することにより、身近な電気の学習を通して、環境問題に迫り児童の課題意識を高める。

② 論理的思考力の育成

- ・ 事象を正しく捉え、筋道立てて課題をつかむことができる。 【課題発見能力】
- ・ 多様な方法（直接体験、書籍、新聞、インターネットなど）で見直しを持って必要な情報を集めることができる。 【課題解決能力】
- ・ 事実と意見を区別して書いたり発表したりできる。 【表現力】
- ・ 学習をもとに自ら企画を立て行動できる。 【実践力】

③ 単元計画（下表）

時	学習活動	発見	解決	表現	実践	○評価（評価方法） ◎論理的思考力	教科との関連
導入(1)	○学習の大まかな流れを確認する。 ・ 電気について学習すること、中国電力の方を迎えて学習することを知る。 ・ 電気や環境について調べたいことを考える。				○	◎今知っていることをもとに、キーワードを手がかりに自分の考えをまとめる。 「電気」と「環境」の関わりについて、知っていることをもとに、考えをまとめる。	
課題発見(2)	○電気について知っていることや知りたいことを出し合う。 ○中国電力の方をお迎えして、電気について学習する。 ○火力発電所を見学し、発電の実際について学習する。 ○発電のためのエネルギー、電力の消費、環境との関わりについて課題意識を持つ。 ・ 家庭での電力消費について調べよう。 ・ 学校での電力消費について調べよう。 ・ 発電エネルギーと電力の消費のかかわりを調べよう。				○	○中国電力の方の話や見学して気付いたこと考えたことをメモする。(ファイル) ◎発電方法や環境との関わりについて整理する。 それぞれの発電方法の短所長所をバランスシートにまとめる。 ○調べたいことを発見する。(ファイル) 電力消費について調べ、データを記録する。	国語 大事なことをメモする 理科 電磁石 
課題解決(3)	○調査活動をする。 ・ どんな電気製品がどれだけの電力を消費するのか。 ・ 発電のためにどんな燃料がどれだけ必要なのか。 ・ 発電によって環境にはどんな影響があるのか。 ○集めたデータによる学習1				○	◎調べて、ワークシートに整理する。考えた根拠を明確にする。 ○家庭での電気の消費について調べる。(調査用紙) ◎データを整理し考察する。(統計的な見方考え方) 変化の要因を考える	算数 表・グラフをよむ 書く
中間まとめ(4)	○これまでに分かったことをまとめる。				○	◎伝えたいことを吟味し、プレゼンテーション資料を作成する。 ○調べたことをプレゼンテーションに盛り込む。(プレゼンテーション) 電力消費を抑えるための課題意識を持つ。	
課題設定(1)	○省エネルギーについての課題意識を持つ。 ・ どうすれば電気の消費を少なくできるのだろう。				○	○課題意識を持つ。(教師の観察・ファイル)	
課題解決(4)	○家庭での省エネルギー、学校での省エネルギーに取り組む。 ○集めたデータによる学習2				○	◎省エネルギーの取組みを行いその結果を記録し、それ以前と比較する。 ○省エネのためにできることに取り組む。(自己評価) ◎データを整理し考察する。 予測と実際の差異から具体的な対応の難しさを考える。	家庭 調理時間の工夫 算数 表・グラフをよむ 書く
まとめ(6)	○プレゼンテーションにまとめる。 ○プレゼンテーションによる発表を行う。 ○単元で学んだことを整理して、今後の生活に活かしていこうとする意欲を持つ。				○	◎プレゼンテーション資料を作成する。 ・ 調べた事実を元に理由や根拠を明確にした意見を持つことができる。 ・ 事実と意見を区別して、説明の文章に表すことができる。 ○今後の生活に活かす。(自己評価)	国語 「私の意見」を書こう

※ 吹き出しは、研修時に指導を受け改善したもの

※ 囲みは、論理的思考力の補足説明

学習したことをもとに、今後の生活に活かせるような企画を立てる。

出前授業

